

小学部第5・6学年 自立活動『わくわくタイム』（縦割りグループA）学習支援案

1. 日時と場所 平成〇〇年〇〇月〇日（木）〇〇：〇〇～〇〇：〇〇 機能訓練室

2. 目標

グループ目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな遊具を使ったサーキット活動を繰り返して行い、自分の身体に対する意識を高め、状況に応じて身体を動かすことができる。</li> <li>○ 揺れや回転、傾きを感じとり、それに対応することができる。</li> <li>○ 物や人に関わりながら、集中して活動に取り組むことができる。</li> </ul>					
本時における個人目標	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小型トランポリンの揺れや傾きに対応し、姿勢を保持する。</li> <li>○ ラージボールに乗り、体幹を伸ばす。</li> <li>○ 四つ這いの姿勢を保持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補助を受けながら、立位で二本橋を渡る。</li> <li>○ ボルスターの揺れに対して落ちないようにしがみつく。</li> <li>○ 名前を呼ばれたら自分から遊具へ向かう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1段のバーは、両足一緒にジャンプして跳び越す。</li> <li>○ トランポリンで跳びながらボールを投げたり取ったりする。</li> <li>○ 一人でコースを回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1段と2段のバーは、両足一緒にジャンプして跳び越す。</li> <li>○ トランポリンで跳びながら、ボールを投げる。</li> <li>○ 友達の活動を着席して見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 壁に片手をつき、一人で平均台を渡る。</li> <li>○ ボルスターにまたがって座り、足を床から上げて揺れる。</li> <li>○ サーキットを最後まで続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 壁に両手をつき、一人で平均台を渡る。</li> <li>○ トランポリンに自分で乗り、座ったまま10回跳ぶ。</li> <li>○ 自分から遊具に乗る。</li> </ul>

3. 本時の流れ ※支援について 環：環境面への支援 理：理解面への支援 技：技能面への支援 意：意欲面への支援

学習内容	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
1. はじめのあいさつをする。 ○名前よび	1. 学習の始まりを意識し、名前を呼ばれたら名前カードを貼る。					
2. 今日のめあてを決める。	<input type="checkbox"/> 意名前カードを貼るボードに顔写真をつけておく。					
3. 「元気たいそう」をする。	2. 今日がんばりたい遊具の写真カードを見つめることを選ぶ	2. 今日がんばりたい遊具の写真カードを指す。				
		<input type="checkbox"/> 環自分で1枚を指しやすいように大きめの写真カードを作っておく。				
	3. 『元気たいそう』をする。					
	<input type="checkbox"/> 環床の感触を味わえるように裸足で活動する。	<input type="checkbox"/> 理注目しやすい位置で、教師の見本を見せる。				
	<input type="checkbox"/> 環身体各部を動かせるように教師と両手をつなぎ一緒に活動する。	<input type="checkbox"/> 環自分の身体の動きが分かるように鏡の前に立つ。				
4. サーキットを回る。	4. サーキットを回る。					
小型トランポリン	前後左右の傾きにも姿勢を保持し、両腕を伸ばしたまま揺れに対応する。	バーまたぎ 足元をよく見て、左右の足でしっかり踏みしめながらまたぎ越す。	1段のバーは、両足一緒にジャンプして跳び越す。	1段と2段のバーは、両足一緒にジャンプして跳び越す。	足元をよく見てゆっくりまたぎ越す。	足元をよく見てゆっくりまたぎ越す。



学習内容	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
ラージボール	腹臥位でバランスをとりながら、揺れに対応する。背臥位で床から足を浮かせて揺れに対応し、リラックスして体幹を伸ばす。	平均台 壁に片手をつき、補助を受けながら渡る。	足元をよく見て、一人で渡る。	足元をよく見て、一人で渡る。	壁に片手をつき、一人で渡る。	壁に両手をつき、一人で渡る。
四つ這い位	床に両手をついて身体を支え、顔を上げて四つ這いの姿勢を保持する。	トランポリン 途中で座り込まず、立位のまま10回跳ぶ。	跳びながら、ボールを投げたり取ったりする。	跳びながら、ボールを投げる。	立位で10回跳ぶ。	自分で乗り、座ったまま10回跳ぶ。
ボルスター	Tと対面でまたがって両手をつなぎ、両足を床につけたまま、前後左右の揺れに対応する。	二本橋 補助を受けながら、立位で渡る。	立位で、手足を意識しながら落ちないように渡る。	立位で、手足を意識しながら落ちないように渡る。	高這いで、最後まで渡る。	補助を受けなくて、高這いで渡る。
		ボルスター 前後の揺れに対し、落ちないようにしがみつく。	前後の揺れに対し落ちないようにしがみつく、玉をかごに投げ入れる。	前後の揺れに対し落ちないようにしがみつく、玉をかごに投げ入れる。	ボルスターにまたがって座り、足を床から上げて揺れる。	ボルスターにまたがって座り、足を床から上げて揺れながら玉をかごに投げ入れる。
5. がんばったことを発表する。	<p><b>環</b>他の児童と同じ場で活動できるように遊具を中央に設置する。</p> <p><b>意</b>安心して活動できるように、歌を歌ったり言葉かけをしたりする。</p>	<p><b>理</b>次の遊具へ一人でスムーズに動けるように、遊具を左回りに並べてコースを設定する。</p> <p><b>意</b>できたことを賞賛し、次の課題へ励ます。</p> <p><b>扱</b>平均台は壁に手をついて歩けるように壁際に置いておく。</p>				
6. お楽しみの遊具で遊ぶ	6. ボルスターに乗り、前後左右の揺れに対応する。	5. がんばった遊具の写真カードを指し示す。				
7. おわりのあいさつをする。		6. 好きな遊具で遊ぶ。				
		7. おわりのあいさつをする。				
		<b>理</b> MTに注目できるように、STがMTの方向を指でさし示す。				

#### 4. 評価

評価項目	できた○ ○の中に、A…自分で、B…ことばかけで、C…指さし・ジェスチャーで、D…見本・実物を見せる、E…教師と一緒に、できない×					
	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん
小型トランポリンの揺れや傾きに対応し、姿勢を保持する。	補助を受けながら、立位で二本橋を渡る。	1段のバーは、両足一緒にジャンプして跳び越す。	1段と2段のバーは、両足一緒にジャンプして跳び越す。	壁に片手をつき、一人で平均台を渡る。	壁に両手をつき、一人で平均台を渡る。	
ラージボールに乗り、体幹を伸ばす。	ボルスターの揺れに対して落ちないようにしがみつく。	トランポリンで跳びながらボールを投げたり取ったりする。	トランポリンで跳びながら、ボールを投げる。	ボルスターにまたがって座り、足を床から上げて揺れる。	トランポリンに自分で乗り、座ったまま10回跳ぶ。	
四つ這いの姿勢を保持する。	名前を呼ばれたら自分から遊具へ向かう。	一人でコースを回る。	友達の活動を着席して見る。	サーキットを最後まで続ける。	自分から遊具に乗る。	

資料

〈支援ツール〉

スケジュール表	名前ボード	めあてボード
		
<p>○ 学習の流れに見通しを持つことができる。</p>	<p>○ 自分や友達を意識して、一緒に活動しようとする意欲を持つことができる。</p>	<p>○ 今日めあてを自分で選び、活動への意欲を高めることができる。</p> <p>○ 自分の学習を振り返ることができる。友達のがんばりを認め合うことができる。</p>

平均台	鏡	サーキット
<p>○ 平均台のうち一台は壁際に設置すると、壁を伝って一人で渡ることができる。</p> <p>○ 平均台の端に補助台を置くと、一人で上がることができる。</p>	<p>○ 自分の動きが見えるように鏡の前で体操をすることにより、自分の身体への意識をはっきりさせることができる。</p>	<p>○ 一人一人の課題を含む遊具を左回りに設置することにより、次の遊具に一人でスムーズに動くことができる。</p> <p>○ 友達の様子を見ながら意欲を高めることができる。</p>

〈教室配置図〉

